

出展ゾーン

維持管理

管路の調査・洗浄・更生・耐震まで

街を診て・治す『まちのお医者さん』

人が病気になるとお医者さんが診ますが、もしも街が老朽化してボロボロになったら？ 安心して暮らせるいつまでも元気な街のために下水道管路を調査・診断して治し、再生する。インフラメンテナンス技術を培ってきた当社は、豊富な工法バリエーションであらゆる維持管理のニーズに対応する「まちのお医者さん」を目指します。

衛星による漏水検知技術『アステラ』

音が唯一の手掛かりだった漏水調査に衛星の知見を取り入れて、複数年かかっていた全域調査を単年で実施可能にする技術です。人工衛星による観測データを解析し、市内全域の漏水調査対象を絞りこむことで現地調査を大幅に効率化できます。

アステラの導入により①全域調査周期を短縮（市内全域を平均2か月で解析して調査延長を平均10分の1程度まで絞り込み）、②二次災害の防止（未調査地域での漏水発見、地盤沈下・道路陥没等の事故を防止）、③経済的な全域調査（従来の全域漏水調査に比べ経済的）、④現地調査のIT化（既存のGIS管路データを活用、漏水位置情報のGISデータ化）、⑤管路更新計画の最適化（現地調査結果を管路診断の基礎資料に活用）のメリットが得られます。



©canva

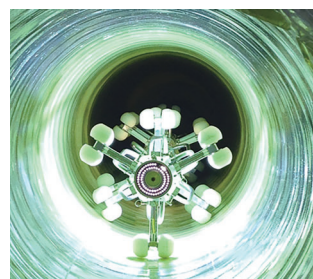
氷で圧送管路を洗浄『アイスピグ管内洗浄工法』

圧送管内に特殊アイスシャーベットを挿入し管壁のマンガンやバイオフィーム等の汚れを落とし、堆積物を包み込みながら管外へ排出します。管径の変化や曲がりにも対応でき隅々まで洗浄可能です。従来の洗浄法に比べて詰まり・破損のリスクが小さい、長距離洗浄が可能、作業が短時間ですむ、材料が水と食塩のみで無害なため安全・安心といった特徴があります。



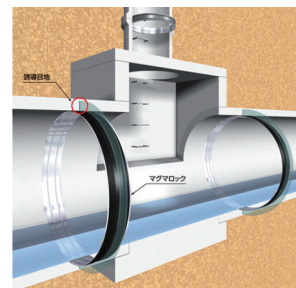
光でスピーディに非開削更生『アルファライナーH工法』

光を照射することで硬化する光硬化性樹脂を使用し、非開削で既設管内に更生管を作る更生工法です。材料の選定は1mm単位で行い、無駄のない更生材の選択が可能。更生材に強固なガラス繊維を採用することで、高強度な新しい管を既設管内に構築することができます。



管きよの耐震化『マグマロック工法』

耐震性のない既設管きよを非開削で短時間に耐震化する技術です。既設管きよのマンホール接続部に誘導目地を切削し、ステンレスとゴム製スリーブの耐震リングを設置することで、レベル2地震動に耐えられる構造へ改造します。

小間番号
東3ホール

3-223

【出展者】東亜グラウト工業株式会社

【所在地】〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10-3 TMSビル

【連絡先】TEL：03-3355-1531 FAX：03-3355-3107

担当部署：管路グループ

東亜グラウト工業HPはこちら→

